



ビジネスをしないと駄目です。

巷では、「twitter」「facebook」などのSNSが流行っておりますね。いろんな人がビジネスチャンスと捉えているのか、日常業務のように書き込んでおります。また、すべてのメディアも「救世主」が現れたかの如く、日々取り上げておりますね。

また、「もしドラ」をはじめとした「漫画」による「マネジメント系」の本も流行しております。本屋さんには「ドラッカーコーナー」がどこに行ってもございます。これも「救世主」のように取り上げられてます。そして経営者や社員のみならずが思うのは――

「もっとマネジメントを勉強しなきゃ！」

「ドラッカーやコトラーの手法を学べば、自社も不景気から脱出できる!!」

このような風潮があるような気がしております。違いますかね？ そういう私も、SNSもやっておりますし、哲学書も読んでおります。今年から地元福井の「インターネット通販研究会」の会長を仰せつかり「1年間を通じてドラッカーを勉強します」と宣言し、1ヵ月にいちど課題本を読んで頂き、勉強会を開催しております。矛盾してますよね、私の行動が。

でも、違うんですよ。世間一般のSNSやドラッカーとは。SNSやドラッカーを実践したところで、「ビジネス」にはならないんですよ。地域貢献やSNSでのイベントを開催する前に、我々が実践しないといけないのは「ビジネス」なんです。仕事じゃありません。「ビジネス」は必ず「利益につながる活動」です。「仕事」は「利益に直結しない活動」と定義してもいいと思います。

「仕事」から「ビジネス」に落とし込む――これがマネジメントではないでしょうか？

以下の点について自問自答してみてください。

1. 「マネジメント」という仕組みだけが選考して自社内の改革をお客様獲得より先行している。
2. 営業活動よりも、会社の仕組み作りを大切にしている。
3. 異業種交流会に出席するよりも社内の飲み会に参加している。
4. ISOの仕組みで「承認」が多すぎる。
5. 社内の至るところに「チェックリスト」がある。
6. クレームが発生しても「お客様の責任」ということで片付けてしまう。
7. トップにすべての情報が伝達しない仕組みになっている。つまり、自分に責任問題が掛かりそうなことはトップに相談しない。

8. 言葉で伝えれば済むことでも。社内での「チャット」「メール」が頻繁に行われている。

いかがでしょうか？ すべて当てはまる企業さえるのでは、ないでしょうか？

なんでもかんでも流行を追いかけて「マジック」にだまされてはいけません。

本質はなんなのか。かんたんにいえば「弊社はなんで利益を得ているのか?」「なんのビジネスをするのか?」「我々は何者なのか?」こういうことを常に意識しないと、倒産しちゃうと思ってます。

まだまだ、日本の企業は厳しい状況でございます。だから、こういう思想(SNSやマネジメント)がもてはやされることは、理解できますし、大事だと思います。勉強して損はありません。しかし、それが「ビジネス」になってはいけません。本当のビジネスは……「お客様の視点に常に立っていること」なんです。何度も書きますが「利益が出ない活動はビジネスではない!!」のです。いくらきれい事を言ったところで、倒産したらすべて終わりなのです。

ISOを含めたマネジメントはあくまでも「ツール」なんです。SNSも「ツール」なんです。活用するのは、経営者が判断すればいいのですから。

お客様の視点に常に立っていること――これが商売の原則です。また、利益が出ることも原則です。その中で「Win-Win」の関係にあればいいのです。

私は、SNSもマネジメントも大好きです。好きだからこそ、「本質」を見失わないようにしたいです。



深田和範 / 著 (新潮新書)

◆◆◆ お薦めの本 ◆◆◆

『マネジメント信仰が会社を滅ぼす』

この本をナニゲに本屋さんで見つけてしまいました。掘り出しモンです。この本は。

読んでおいて損はないです。ぜんぜんマネジメントを批判していないのですが、事例紹介で自分の会社に置き換えて考えると……ぞっ!としますから。

お薦め本『マネジメント信仰が会社を滅ぼす』を抽選で1名様にプレゼント! 詳しくは39ページへ。



めっき職人
清水栄次
SHIMIZU Eiji

【プロフィール】

三和メッキ工業株式会社 取締役専務。
ISMSを業界初で取得(ISO9001、14001と統合)。2004年に個人専用のめっきサイトを立ち上げる。2005年、エミダスホームページ大賞のグランプリを受賞。パーソナリティを勤める「全開!福井あばさけビジネス道(FM福井)」が、全国FM放送協議会「JFN賞2006激励賞」を受賞。2008年2月には携帯サイトをオープンした。また、トラブルハンターズ「スカイパー 4」の顔を持ち、スカイパーで国内外のめっきに関するトラブルを解決している。



<http://www.sanwa-p.co.jp>